



加藤 裕子

12/4 (金) 午後1時~3時

内容 絵付け体験など  
募集人数 5人程度 参加費 5,000円



陶芸体験の合間には、風情ある茶室でお抹茶を一服いただけます。

美濃大平の陶祖・加藤景豊の流れをくみ、岐阜県無形文化財保持者に認定された加藤十右衛門の三男弥右衛門さんとその娘の裕子さん。美濃桃山陶の伝統技法をベースに、志野、黄瀬戸、織部、美濃伊賀などを手掛けています。また、弥七田古窯に窯が隣接しており、洗練された意匠の弥七田織部も作陶しています。



加藤 弥右衛門

## 美濃桃山陶の聖地 かに窯めぐり

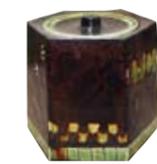
かに窯めぐりは、豊かな自然を身にまとい作陶している窯元を探访する企画です。作陶工房では、織部の釉薬へのこだわりや400年の歴史を体験できる絵付け、炎燃え盛る大窯の窯焚きの見学など、日頃出会えない時間を楽しんでいただけます。また、荒川豊蔵との思い出話など、陶芸家ならではの興味深いエピソードにあふれています。美濃桃山陶の聖地で、400年前の陶工たちの息遣いや足跡を感じながら作陶する現代の陶芸家の「土を見、炎を観る」眼差しに接してみませんか。



瀧口 大喜

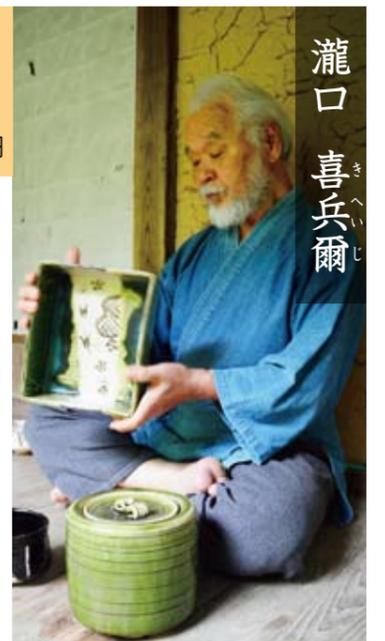
12/1 (火) 午後1時~3時

内容 制作実演見学、絵付け体験など  
募集人数 10人程度 参加費 5,000円



当日は、美濃焼が出来る工程を分かりやすく解説していただき、絵付けも体験できます。

瀧口喜兵衛さんは、陶芸家の加藤十右衛門に師事した後、独立。長男の大喜さんと共に、織部を中心に作陶しています。「自然の中にある窯場は、ここ大萱にしかない」との言葉どおり、自然あふれる雰囲気大切に作り、作品にもその穏やかさが表れています。



瀧口 喜兵衛

講演会  
陶芸家 吉田喜彦さんが語ること

吉田喜彦さんは、人間国宝の荒川豊蔵と濱田庄司の影響を受けつつ、独自の美学を追究してきました。幼いころから様々なものを観ることが好きで、陶磁器に留まらず、世界の古民具などを収集してきました。いいものを観る、そしてそのものの精神性を感じ思考することを大切にできた吉田さんがやきものについて語ります。

期日 12月19日(土)  
時間 午後1時~3時  
場所 久々利公民館  
テーマ やきもの話  
募集人数 40人  
参加費 無料

撮影:小寺克彦



樋口 雅之

12/2 (水) 午後1時~2時

内容 窯焚きの見学  
募集人数 5人程度 参加費 無料

当日は、なかなか目にすることのできない窯焚きを見学できます。

樋口雅之さんは、備前焼の陶芸家・山本陶秀に師事した後、独立。志野を中心に作陶しています。受け継がれてきた価値観や生活環境が変わる中、「美濃桃山陶の本質とは」をテーマにしています。陶芸に限らず時代を生きてきた名品に影響を受け、自身が受けた感覚や知らず知らずのうちに積み重なった想い、電撃的な閃きのようなもの、また美しいと思えるものを素材とそれを生かす火を与え、自分の手を通して作品に反映していきます。



集合場所 荒川豊蔵資料館駐車場  
※12月19日(土)は久々利公民館。  
申込方法 希望する期日、参加者氏名(3人まで)、代表者の住所・電話番号を明記し、各回につき1枚のはがきで申し込む  
送付先 〒509-0292 広見一丁目1番地 可児市役所観光交流課  
流課  
申込締切 11月20日(金) 当日消印有効(同課に持参する場合は午後5時15分まで)  
※応募者多数の場合は、11月25日(水)午前10時に市役所3階観光交流課で公開抽選を行います。  
※当選者のみ詳細を文書でお知らせします。

共通事項

はがき記入例	
裏面	表面
希望する期日 (代表者のみ) 氏名 住所 電話番号 (代表者以外) 氏名(2人まで)	509-0292 広見一丁目1番地 可児市役所 観光交流課 宛